

シリーズ 社会福祉法人の力を地域に ～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

「 連絡会6法人で取り組む福祉教育 ～町の将来を担う人材育成を目指して～」 穴水町内社会福祉法人連絡会

取り組みの経緯

穴水町内社会福祉法人連絡会(以降、連絡会)は、平成30年度より穴水中学校にて福祉教育事業を実施しています。

当事業は北伸福祉会あすなる学園が中心となり町内6法人全体で、中学校との事前打合せから準備、当日の進行や講師まで町社協が調整しながら役割分担をして取り組んでおり、当日も各法人の職員が駆けつけ、運営にあたりました。

中学校の協力はもちろん、連絡会で役割を分担することで各法人が主体的に取り組み、今年度で6回目の実施となりました。



福祉講座では「身の回りで、できることから始めてみてください。」とのメッセージが。

実際に見て触れて学ぶことで



生徒たちは真剣な表情で施設職員の方の説明を聞いていました。

毎年1年生を対象に実施しており、今年度は27名の生徒が高齢者や障害者の理解を深めました。

始めに「福祉講座」として北伸福祉会の介護支援専門員の方より「町で暮らす高齢者の心や身体の変化」についてのお話をいただきました。

次に徳充会の生活介護支援員のお2人から「視覚障害を持つ方への声かけ」についての説明を受けグループに分かれて「車椅子」「アイマスク」「ポッチャ」の3つのコーナーをローテーションで体験しました。各コーナーの説明・補助役は、各法人の職員の方々が務めました。

助け合い支え合う地域づくりに向けて

参加した生徒からは、「体験することで福祉について身近に感じる事ができた」「車椅子に乗る人の気持ちがわかり、今後につなげていきたいと思った」などの感想が聞かれました。

全体進行を務めた北伸福祉会あすなる学園角間施設長は「福祉とはふだんのくらしのしあわせ。そんな福祉を実現するために、高齢者や障害者など関係なく町で暮らすみんなが助け合い支え合う地域づくりを担う人材になってほしい」と生徒へお話されていました。



乗っている方が怖い思いをしないよう一つ一つの動作に声をかけていました。

【問い合わせ】穴水町内社会福祉法人連絡会 TEL 0768-52-0378 (穴水町社協)

◇◇◇地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。◇◇◇